



第11回 福高塾 米国公認会計



大石龍太郎さん（高29回）



新しい複合コンサルティングを
～パワフルな国でのパワフルな仕事と

生活の話に興奮・共感

第11回福高塾は、長年にわたり口サンゼルスで米国公認会計士として活躍されている大石龍太郎氏（高29回）をお迎えし、品川区総合区民会館きゆりあんで昨年12月2日に開催しました。（①学校時代の思い出、②現在の仕事を）

今回の福高塾は、趣向も新たに参加者を交えた座談会・対話形式とし、次のお題の中から自由に選んで語つていただきました。①学校時代の思い出、②現在の仕事を

大石氏は、1982年に渡米、現地の会計事務所でキャリアを積み、92年に独立して大石会計事務所を設立。現在では、会計業務のみスポーツビジネス、⑤プ

選択したきっかけと現在の仕事の状況、③海外で仕事をするうえでの苦労や楽しかったこと、④ちよつと専門的ではあるが、仕事上の表話と裏話。例えば、ビジネス全般、日本とアメリカの会計制度の違い、ドジャース、

買収等のリス
トラクチュア
リングを始め
とするコンサ
ルティング分
一、金融等の新潮流であ
ならず、合併・
ライバー卜におけるボク
シングの活動 ⑥その他
のトピックス（共和党 vs
民主党、保守主義 vs リベ
ラル、トランプ vs ヒラリ



優勝しました！

石井哲次郎（高13回）

昨日11月7日(月)に立川国際カントリー俱楽部で開催されました。

立川国際カンパニーリーグ

うに元気でいたいと思います。

参加者は36名を数え、特に若い年代の参加者が増えてきており、懇親会にも積極的に参加しているのが、今後の同窓会活動を進めるうえで

ビジネスの相違は、個人の自由を尊重するアメリカと、社会との調和を重んじる日本の風潮が根底にあるとのこと、双方、良し悪しがあります。日本はやはり日本らしさを大切にしていくことがよいと感じると締められました。

るFinTech事情、自動車配車サービスUberの利便性)⑦座右の銘、信条 生き方、⑧会計税務に関する日米の制度対比、などなど。

A photograph showing a group of approximately ten people seated in rows of red chairs, facing towards the left of the frame. They appear to be in a formal setting, possibly a conference room or a lecture hall. The individuals are dressed in a variety of attire, from casual to semi-formal. Some are looking directly at the camera, while others are looking slightly to the side. The background is plain, suggesting an indoor environment.

福友会はゴルフを通じて、福高の仲間と親交を深めるいい機会です。東京・福中福高同窓会のメンバーの中には、ゴルフをする方はたくさんおられます。ぜひ、参加してください。参加してくださる方の場合は、幹事の高橋先生が希望の方に連絡いたします。次回からご案内させていただきます。

福友会ゴルフコンペで優勝しました。参加者8名。何回か参加していますが、優勝は初めてです。実はダブルペリア方式といつて、ハンディキャップを打数から計算する方式で、いいわば宝くじに当たる運みたいなものです。それでもやつぱり、優勝は嬉しいものです。

ゴルフはもう長い間、やっていますが、年齢とともに飛距離は落ちるし、スコアは

